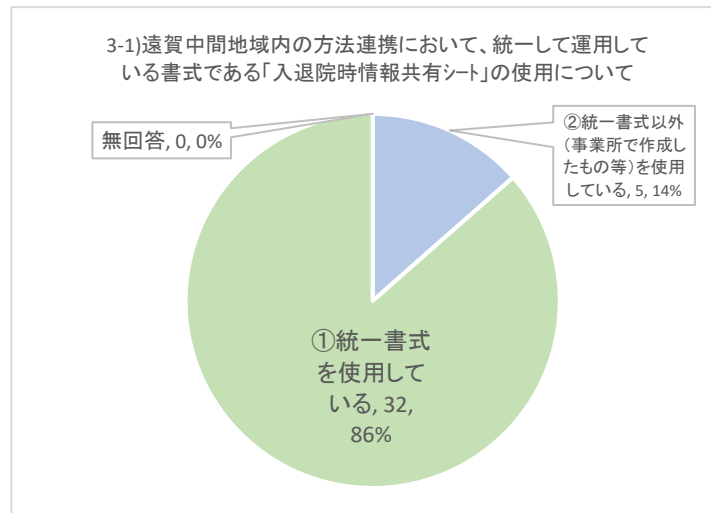


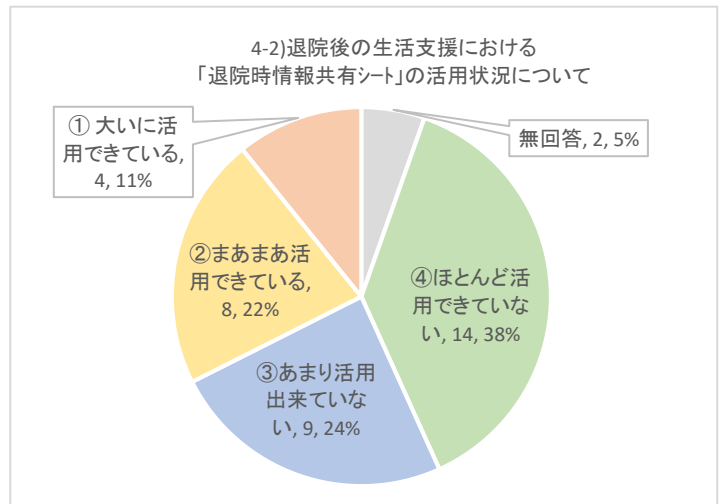
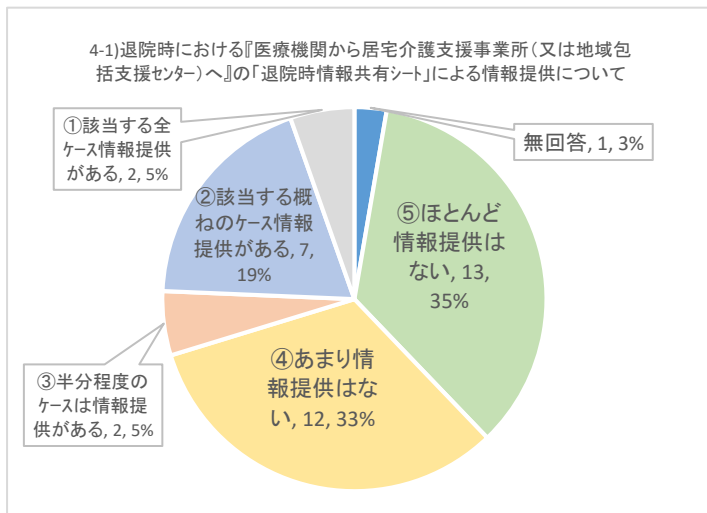
2-2)③④⑤と答えた方:送付に至らなかった理由

- ・情報提供の際は、当居宅支援事業所の書式の基本情報を送付しています。
- ・病院からの依頼もなかった。
- ・別シートを使っていたが、使ってみて活用しやすいと感じた。今後は積極的に活用したい。



3-2)シートの運用に関することやその他意見

- ・字が小さくなってしまるのが難点。
- ・予防に関しては統一書式、介護認定の方は統一書式以外を活用しています。
- ・統一書式に入力しなおして新たに作成するのは、時間的に余裕がなく、業務の負担になるため。
- ・この情報共有シートをもって入院時情報連携加算を算定していますが、保険者から加算を取るには、内容不足と指摘があったとの話を聞きました。実際はどうなっているのでしょうか。
- ・広域連合のヒアリングで、厚労省の書式に準ずるものにした方が良いと指摘されました。
- ・障害、認知症高齢者自立度も記載が必要との事で、口腔ケア欄の右側空欄を利用して記入しています。内服薬については、コピー添書(その他欄)に記入しています。
- ・現病歴、既往歴の欄がもう少し大きい方がよい。全体的に文字を大きくして入力したい。その他(本人の望む暮らしなど…)も項目わけし、チェック形式で簡潔に入力できるとよい。
- ・書式をネットから取り出す際、見つけにくかった。
- ・入院時情報共有シートについては、ほぼ統一して使用させてもらっています。



4-2-2)①②と答えた方:どんな点がどの様に役立っていますか

- ・退院時情報シートにて状況の確認把握が行える。
- ・入院中の状態や、今後の注意点等、退院後のケアプランに活用できています。
- ・入院時の食事、排泄、入浴やADL状況が確認できる。
- ・食事の内容やADLなど分かるから。
- ・入院前と現状の比較が出来、サービス選定に役に立つ。
- ・入院後から退院時の状態がわかるので、退院後の在宅プランに役立っている。
- ・入院中の経過や病状を知ることができるため、退院後の生活に役立てる。
- ・身体の動きを中心に、自宅及び施設に戻った際、介護者が注意しないといけない主点が、もう少しわかれば良いと思う。
- ・本人の状態が色々わかる。退院時は看護サマリー、リハサマリー、栄養サマリーの提示があるため、退院時シートに書き写している。
- ・事業所との連携、情報共有、サービスの調整。
- ・入退院が遠賀中間地域でないため。
- ・身体状況の確認、医療ニーズ及び生活上の注意点等確認でき活用することができます。

4-2-2)③④と答えた方:活用されにくい理由

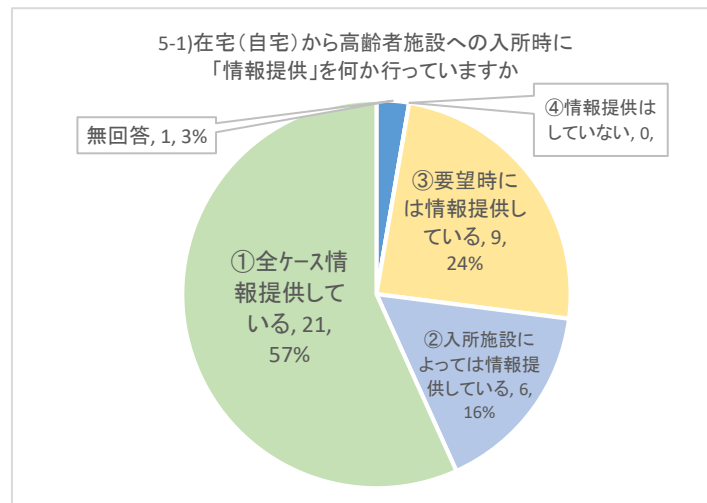
- ・病院からの提供があまりない。
- ・看護サマリーや電話での対応で退院時情報共有シートの活用がないため。
- ・病院からは退院時情報共有シートではなく、看護サマリーにて情報提供されることが多い。
- ・退院時情報共有シートではなく看護サマリーで情報提供を頂くことが多いので、活用まで至っていない。
- ・病院側が活用していないため。
- ・退院時情報共有シートをいただいていない。
- ・ENT時に看護サマリーはいただきますが、情報共有シートをいただくことがあまりない。
- ・サマリーやカンファ参加で代用。
- ・あまり情報提供がなく、電話での報告だけのことが多い。報告もなく退院されていたこともあった。

4-2-2)③④と答えた方:活用されにくい理由

- ・シートをもらってないから。
- ・情報共有シートでの書式で情報をもらった事がないです。
- ・退院時情報共有シートを頂いたことがない。退院後、家族から連絡があり、病院から退院の連絡がない時もある。
- ・「退院時情報共有シート」を使用している機関は、数機関しかなく、ほとんどは独自の書式での情報提供です。
- ・坦会(退院時)やサマリーにて情報収集できていると思っています。
- ・活用されにくい理由ではなく、活用できていないので、電話での情報収集や看護サマリ、リハビリ添書で確認を行っている。
- ・医療機関から「入退院時情報共有シート」をいただいたケースはありませんが、電話や退院時サマリーにより情報共有を行っております。
- ・特に病院側からの要求はない。

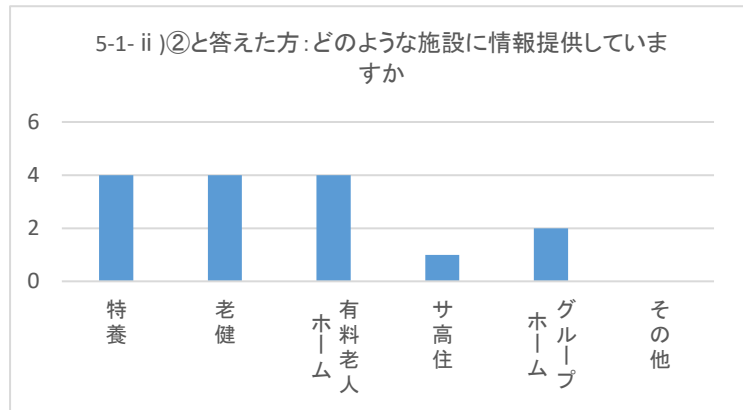
4-2-3)シートの運用に関することやその他意見

- ・医療サイトは、シートの運用を知っているのか不明です。
- ・電話や訪問で情報収集は行っているが、共有シートを頂ければ、なお理解しやすいと思います。
- ・申し出ればもらえると思うが、忙しそうなので言いにくい。
- ・ぜひ活用させていただきたいです。ENT後は特に事業所さんが受け入れることを不安に思っている事もあるので、共有していきたい。
- ・様式については、厚労省で示されたものを使用しています。
- ・退院時情報共有シートではなく、看護サマリーやリハビリの情報を頂いています。SWIに聞き取った内容やサマリーを活用して退院後の支援につなげています。
- ・入院前と、どのように変化があるのかが具体的に知りたいです。
- ・「入退院時情報共有シート」ではなく、看護サマリー等をもろうケースがほとんど。
- ・入院時情報共有シートを送付しているため、退院時にはケアマネに送付してほしい。
- ・できたら近隣の医療機関については、統一した書式での情報提供の法が望ましいと思います。
- ・退院時サマリーで対応は可能と考えます。



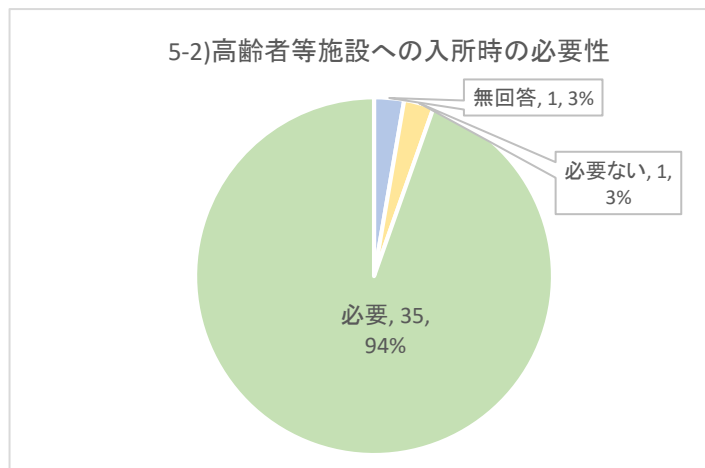
5-1- i)①と答えた方:どんな内容についてですか

- ・フェイスシート、アセスメント23項目、ケアプラン。
- ・自宅での今までの様子やプランの提出、アセスメント類、情報提供を行っています。
- ・在宅での生活、支援状況。
- ・利用者の基本情報。
- ・アセスメント、基本情報等。
- ・アセスメント、ケアプラン、介護保険証、負担割合証のコピー。
- ・利用者のADLや認知症状、精神症状などFaの情報なども。
- ・基本情報。
- ・ケアプラン、アセスメントシート。
- ・ADL、基本情報、アセスメント。
- ・アセスメント、居宅サービス計画書や介護保険証、現在の状況等。
- ・ご本人、ご家族の同意を得た上で、介護状況や生活状況、医療情報、家族の状況などの基本情報、服薬情報を送付し、情報提供しています。
- ・アセスメントシートやケアプラン。
- ・アセスメント、基本情報。
- ・基本情報、介護保険情報、既往歴、現病歴、生活歴、生活状況。
- ・基本情報、アセスメント。
- ・日常生活の状況、既往歴、家族歴、介護保険情報など、アセスメント。
- ・ADL、精神的問題、食事形態など医療介護にかかわる内容、BT、薬など。
- ・基本情報。
- ・今までの生活状況や家族関係、本人の得意とするものや生活歴など要望があれば計画書を添付する。アセスメント票、フェイスシートの活用。
- ・基本情報、介護保険の認定状況及び負担割合の写し、計画書(1)(2)表、週間計画、必要があれば生活状況やデイ等の状況等の報告。



5-1- ii)②と答えた方:どんな内容についてですか

- ・生活歴、現在のADL、薬の情報、介護サービス、家族の関係。
- ・本人の年齢、家族構成、既往歴、性格、経済情報、現在の状況、要介護度、介護サービスの利用、障害高齢者自立度、認知高齢者自立度、身体機能の状況等。
- ・基本情報、現在のサービス利用状況。
- ・基本情報、アセスメントシート。
- ・当事業所で作成しているアセスメントシート(課題分析標準項目23項目を網羅している書式)で情報提供している。
- 介護保険証、負担割合証の写し。
- ・日頃の生活状態。日常生活の自立度。



5-2)意見

- ・施設側の考え方によるが、居宅同士の情報共有はとても役立っているのので、先方のケアマネの助けになればといつも送っている。
- ・できる限り本人様の状況を把握したうえで対応して頂く。利用者様が不安なく過ごせる様には、情報共有は必要と思います。
- ・情報の共有を行うことで、入所後も対応がスムーズに行えると思います。
- ・新しい環境に慣れて頂く為にも、本人のことをスタッフに、より理解して頂きたいと思い、情報提供するようにしています。
- ・情報提供を提案するが「不要」と言われることもある。
- ・在宅で生活していきたい想いを、施設職員の方に伝えたい。

5-2)意見

- ・ご本人の現在の状態、状況把握を行うため、情報共有は必要。
- ・情報があれば対応しやすいと思われる。
- ・入所対象者様の情報を引き継ぐケアスタッフへ知ってほしい。(病状、性格など知っていただくとCMも安心です。)
- ・昨年は1件のみ入所あり。奥様が入所されている特養にご主人が入所された為、情報は不要でした。在宅時の状況をお伝えする事で、ご本人の生活スタイルや想いがわかって良いのではと思っています。
- ・施設が入所前の生活を重視してくれるところであれば、必要と思う。
- ・入居者の利用者に対しての情報があつた方が、利用者や介護者も不安ないのではないのでしょうか。
- ・入所後に適切なケアを受け、早く慣れて安心して生活する為には情報共有は必要。
- ・施設内での生活が安全かつ 出来るように、また利用者さんへも今までの生活状況を引き継いでいることを伝えるため、安心して新しい環境に臨めると思う。
- ・ケアマネは入所されたら担当ではなくなる…。情報共有というより在宅時の情報提供としては必要と思う。
- ・施設によっては、情報提供を希望しない事もあり、情報提供の希望がある場合は積極的に行っています。
- ・入所時に早急な対応が必要な薬、病気、日中夜間の生活情報などで安全に対応できると思う。
- ・新しい環境にかわっていくので、今までの生活状態を伝えて、今後の生活に活かせる点があるのではないか。
- ・利用者の情報を伝えることで、利用者が少しでも困ることのないようにしたいと考えます。
- ・その人が毎日を楽しくその人らしく暮らしていく為には必要だと思う。
- ・環境の変化でいままでの状況も変えることがあるので、今後の見通しやリスクをふまえて情報をお伝えできるように心がけています。

6)医療・介護職間の連携体制について気づいた点・その他意見

- ・いつもありがとうございます。
- ・ほぼ連携は取れるが、たまに連携が取りにくいDrがいらっしゃいます(お忙しいのはわかりますが、電話しても出ていただけない、病院に行っても会ってもらえない、ケアプランを受け取っていただけない)。
- ・いつも情報連携していただき、ありがとうございます。
- ・情報共有を出来るようにメディカルケアステーション(MCS)や電話等、ケースに合わせて活用し、医療介護職間の連携を図れるようにしていけたら良いと思います。
- ・在宅支援の調整に対してご理解とご協力を頂けていると感じています。引き続き宜しくお願い致します。
- ・遠賀中間医師会在宅総合支援センターが中心となって活動して頂き、医療介護職間の連携体制は整ってきていると思います。在宅医療、介護連携推進事業計画は課題に対する対策法や方法がわかりやすく共通認識ができると思います。
- ・特にありません。今後ともよろしくお願い致します。
- ・退院時の情報提供については、こちらから要望しないで行わない事が多く、入院時の情報提供はほぼ確実に行っています。退院時情報提供シートの書式統一も含めて、検討をお願いしたいと思います。
- ・MCSを使用する連携が増える事で共通な情報収集ができると思います。
- ・情報共有シートができてから、情報を共有する意識が高まったと思います。今後も意識がたかめられるよう、ご指導よろしくお願い致します。